

平成22年2月2日

各 位

渡島檜山流域森林・林業活性化センター  
理事長 西尾正範

「道南の林業・木材産業を考える集い2010 “地材地消を進めるために”」  
の開催について

立春の候、益々御清栄のこととお喜び申し上げますとともに、日ごろより道南の森林・林業の活性化に向けた活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、渡島檜山管内の各市町及び林業関係者等で組織する当センターでは、この度、北海道渡島支庁との共催により、道南地域における森林資源の循環利用を進め、林業・木材産業の活性化に資するため、地域材の利用に積極的に取り組んでいる方を講師にお招きし、住宅関係者や林業関係者等とともに今後の地域材利用拡大対策を考える標記のシンポジウムを開催することといたしました。

つきましては、多くの方々に参加していただきたく、御案内申し上げます。

なお、準備の都合がありますので、御参加いただける場合は、次によりまして参加申込書の提出をお願いします。

記

1 参加申込書様式  
別紙のとおり

2 申込期日

平成22年2月18日（木）までにFAXまたはメールでお申し込みください。

※メールでお申し込みされる場合は、件名を「道南の林業・木材産業を考える集い参加希望」として、必要事項（参加者の所属・氏名・連絡先）を記入の上、下記アドレスまで送信願います。

3 申込先（お問い合わせ先）

北海道渡島支庁産業振興部林務課（担当 赤澤）

電 話 0138-47-9471

FAX 0138-47-9209

E-mail akazawa.daisuke@pref.hokkaido.lg.jp

ち ざい ち しょう  
**地材地消**



**を進めるために**

道南地域には、トドマツやカラマツのほか、道内の他の地域では見られないスギの資源があり、それらの資源は育成の段階から利用の段階へ移りつつあります。

しかしながら、道南の人工林資源は多くが道外へ出荷されており、地元ではあまり使われていないという状況にあります。

地域の木材を地域で活用する「地材地消」を進めるため、地域材の利用に積極的に取り組まれている方々を講師に招き、参加者の皆様とともに道南地域における今後の地域材利用拡大対策を考えます。

日時：平成22年3月2日（火）13:30～16:30

※13:00より受付開始

入場無料

場所：渡島合同庁舎 3階講堂（函館市美原4丁目6-16）

演題1 **地材地消の家づくり ～地元の木を使おう～**

有限会社 設計工房アーバンハウス 代表取締役 **小野寺 一彦 氏**



～プロフィール～

十勝産の木を使った家づくり促進しようと管内の森林組合、製材業者、設計士、工務店などが結集して平成16年に設立された「とかちの木で家をつくる会」の会長を務める。住宅の作り手と住まい手が、お互いに顔の見える関係を構築し、カラマツをはじめとした地域の木材による家づくりを進めている。

演題2 **森と街をつなぐ ～街に森をつくろう～**

嶺北木材協同組合（高知県） 理事長 **田岡 秀昭 氏**



～プロフィール～

嶺北（れいほく）産木材の販路拡大を図るため、地元の木材関係事業者、行政、関係団体等で組織された「嶺北材ブランド化協議会」の会長を務める。国産材を使ったことのない工務店でも簡単に本格的な国産スギ材の木造住宅が建築できるよう、木造基本構造体のキット「れいほくスケルトン」を商品化した。